

宛先



ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 95

<https://lora-saga.jp>

<https://lora-saga.jp/ialt/index.html>

令和元 (2019) 年 5月30日

低平地研究会

運営委員会の開催

平成 31 年 4 月 19 日(金)に表記の委員会を開催しました。平成 30 年度の活動報告、予算に関する説明、2019 年度の活動計画と予算案、委員交代案が説明され、承認されました。各部会とも積極的な活動が行われていますが、会員や地域の皆様へよりわかりやすく活動内容を発信することなどが提案されました。



運営委員会の様子

活動報告会の開催

運営委員会の同日 14:30 からは研究会の活動報告会を開催しました。西村平会長の挨拶を皮切りに、各専門部会長から平成 30 年の活動内容が報告されました。講演会や見学会が活動の中心ですが、一部部会では活動成果を冊子としてとりまとめています。

活動内容の詳細は 7 月発行予定の研究会機関誌「低平地研究 No.28」に掲載されています。



西村会長の挨拶

特別講演会の開催

「有明海における水環境とノリ生産の現状」

活動報告会の後、15:50 から表記の題目にて、川村嘉広氏 (佐賀大学農学部 特任教授) にご講演いただきました。同氏は永年ノリ養殖の病害・品種開発、技術開発に携われており、現在はより良いノリを養殖できるよう、ゲノム研究を応用した品種改良に努められています。講演では、ノリの品種について、ノリ養殖に関連した有明海の環境について多く述べられました。近年は良好な養殖状況が続いていますが、水温環境などの変化によっては新たな対策が必要とされることでした。

参加者も多く、講演後の質疑の時間では会場から多くの質問が寄せられました。



講演中の川村氏



講演会の様子

研究会機関誌「低平地研究」の発行

「低平地研究 No. 28」が 7 月に発行されます。近年は様々な自然災害が発生し、災害の規模が拡大したケースも多くみられるため、今回の特集は近年の災害の特性及び今後の対策に向けて考えることをテーマにしています。

会員の皆様のもとへ順次お届けいたしますので、今しばらくお待ち下さい。



低平地研究に関する豆知識 -その28-

「城下町」

桃山時代から江戸時代初期の同一時期に（おおむね300年以上前）、我が国では200以上もの城下町が各地に建設されました。城郭を中心に、武家地、町人地などの封建的な社会と対応する空間構成、河川や水路など平地や湿地を可住地とする建設技術、また、周囲での新田開発とも関わりのある都市開発です。「城下町」は1つの優れた都市モデルであり、加えて、現代の主要都市のほとんどがこの城下町の都市基盤を活用していることも大きな特徴です。

基本的に個々の建物は更新しているため、歴史的な町並みの維持は保存的な取り組みが成された一部の地区に限定されます。しかし、戦災や大規模開発の影響が少ない佐賀などの地方都市では、古地図をもって町歩きをすると水路や道の骨格が基本的に温存され、「城下町」を身近に感じることもできましょう。天守閣は分かりやすい城下町のシンボルですが、水路や道路網は現役で使い続けられる生きた遺産であり、これもまた大切にすべき存在です。

（後藤隆太郎：佐賀大学理工学部）

環境専門部会 講演会の案内

「世界の低平地シリーズ」

下記の要領で講演会の開催を予定しています。ご参加をお待ちしています。

日時：6月28日(金)10:30～12:00

場所：佐賀大学本庄キャンパス内

「菱の実会館」1F 多目的室

テーマ：ポーランドの低平地における環境と再生可能エネルギーの取り組み

講師：Professor Joanna Pawlat

Lublin University of Technology

（通訳あり）

イベントのご案内

「SAGA 建設技術フェア2019」

公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構主催(低平地研究会：後援)のイベントが開催されます。会員の皆様も機会がありましたらご参加下さい。

日時：6月12日(水)10:00～16:00

6月13日(水)10:00～16:00

場所：ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア

共催：佐賀県／佐賀大学／（一社）佐賀県県土づくりコンサルタント協会／（一社）佐賀県建設業協会／（一社）佐賀県建築士会／NPO 法人技術交流フォーラム

詳細 URL <https://www.sagacat.or.jp/fair.html>

会員 特別会員

動向 国土交通省 佐賀国道事務所

平成15年から九州各県で持ち回り開催され、今回で15回目となる「道守(みちもり)」が、昨年10月5日に佐賀市で「わくわくドキドキ輝く道守」をテーマ



「道守よかとこマップ」をバックに記念撮影

で開催されました。台風が接近する中、九州各地（沖縄県を除く）から400名を超える方々が参加し、道守活動から生まれた自慢や地域のオススメスポットで埋め尽くされた「道守よかとこマップ」を製作し、「日々の素敵」を再発見し、共有しました。（翌6日の「現地体験学習」は台風接近のため中止）

— 道守(みちもり)とは —

「道」を舞台に、あるいはテーマに地域や暮らしを見つめ、様々な活動を行っている人々を「道守」と名付け、その行動を「道守活動」と呼んでいます。

LTJジャーナル Vol.20、No.4掲載論文

タイトル	第一著者
Laboratory modelling of grouting in poorly-graded sand	Wen-Chieh Cheng
Soil-water coupling analysis on the mechanical behavior of ground soil influenced by underground railway vibration	Xiaohua Bao
A case study on tail brush induced loads upon segmental lining	Santosh Kumar YADAV
Investigation of the safety factor and reliability of the embankment in soil cement column improved ground on Saga lowland	Yassir Jabeur
Study on effects of specimen size of unconfined compressive strength of improved soil	Toshiyuki Himeno
Behavior of reinforced embankment on CDM column improved soft clay deposit	Sailesh Shrestha
Status of soil cement columns in Saga lowland with reference to organic contents	Serigne Mansour Mbodji
Methods for estimating ch and kh from the results of piezocone tests – review and evaluation	Nachanok Chanmee
Developing concept on sponge city arrangement for flood hazard mitigation: A case study of Wuhan, China	Meng-Ying Lin
Assessment of flooding risk in Guangzhou, China	Hai-Min Lyu
Hazards induced by anthropogenic activities, a lesson learned from recent underground construction works	Khalid Elbaz
Analysis of appropriate overtaking position under equal block lengths	Onanong Sangphong
Evaluating user's satisfaction of bus service in Mauritius: Decision tree approach	Thanapong Champahom
The Relationship between Area of Arterial roads and related factors in City Plan	Chisanu Amprayn
The Study of Willingness to Pay for Bicycle Hire Services at Tourist Attractions in Thailand	Duangdao Watthanaklang
Reviewing the efficiency and effectiveness of public transport accessibility for person with reduced mobility: A case study of airport terminal	Darin Ngamsom

編集後記

令和元年第1号のニューズレター、よろしくお願ひいたします。
編集：三島、後藤、武富 (lora@lora-saga.jp)